

校

水下のる姓大寺御は某の院中を忌むるれ
校初を忌校を寄て大堀見分りあふ所を
松子写し出羽守成法状の文云を賛と
惣為とて好し其年の辛酉に是を形
古人或ハ位碑ふよ大寺院と書ハ語

一八幡

同村あり出羽守成法状の文面見分
ふ是なり社領言ハ石二斗地方尚村
あり存ハ忌下し面言九石但松為とありと
そ

当社の前に松の大木植果する所ありを辛
若木を植次て所古屋の松の記とて詩歌俳
句を集て一巻とて是を老樹談と號に小
寺氏當面を阿古屋の松れ記とて事跡
舎の説とやと云く又當面より上は阿古屋法
外といふあり阿古屋の松の愚考羽忌山乃
下は法を

一普光寺如來

三ヶ沢村あり岡浮檀金の如來といふ長
一寸ハ分毫毫たふす程とて蓮花三葉肥の